

藤が原通信

～親愛なるあなたへ～

第142号
社会福祉法人
親愛会
ケアステーション藤が原
令和6年1月号

謹賀新年

新年明けましておめでとうございます。年頭にあたり、謹んで新年のお祝いを申し上げます。旧年中は何かとご協力を賜り、誠にありがとうございました。

本年は大変な災害のニュースとともに明けた年となりました。元旦に発生しました能登半島地震でお亡くなりになられた方々に謹んでお悔やみ申し上げますとともに、被災された方々に心からお見舞い申し上げます。皆様の安全と被災地の一日も早い復興を心からお祈り申し上げます。

2023年は、「災」が復興に向かった年でもありました。新型コロナウイルスが5類感染症に移行し、施設運営においても面会や外出行事などを再開、夏祭りや敬老会などの行事もコロナ禍前と同じような形で開催することができました。「ポストコロナ」の時期に入り、コロナ禍におけるさまざまな経験をを経て、生活様式や働き方の変化、特に季節を問わない感染予防対策の継続は、現在も職員の方身に大きな負担となっているのは事実です。それでもご利用者のこれまでの日常が戻り、人と人、地域との交流を通し、多くの笑顔が見られたことは、職員にとっても何よりの喜びとなりました。コロナ禍で感じた「社会的孤立・孤独感」を誰もが感じるものがないように、それぞれが寄り添い、「辰年」らしく、昨年以上に活力旺盛で活動的な一年にしたいと思えます。

末筆ながら、皆様にとってよい年となりますよう心より祈念し、新年の挨拶いたします。
本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

ケアステーション藤が原
施設長 笹島修

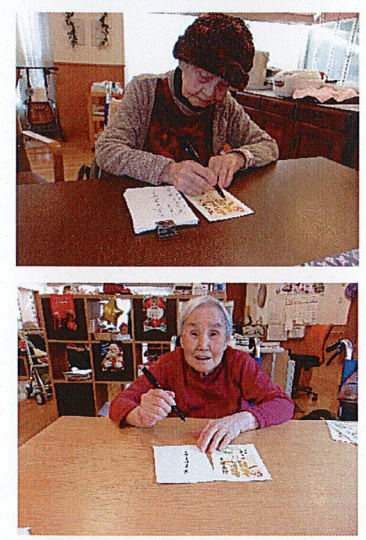
12月28日 年末の餅つきを行いました。「昔取った杵柄」の言葉の通り、「体が覚えているよ」と、ご利用者の皆さんが中心となり、あつという間に立派なお餅ができました。鏡もちも同様に、手ばやに丸めていただき、皆さんで楽しみながら、「年神様」をお迎えする準備ができました。

餅つき



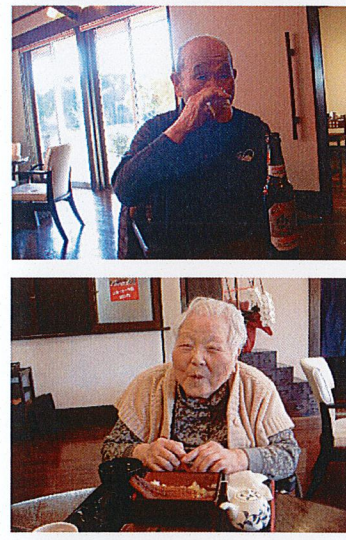
年賀状

ご家族や友人の皆様へ年賀状を書きました。年末ならではの行事を通し、今年のお出立事や、ご家族との思い出話に花が咲いていました。



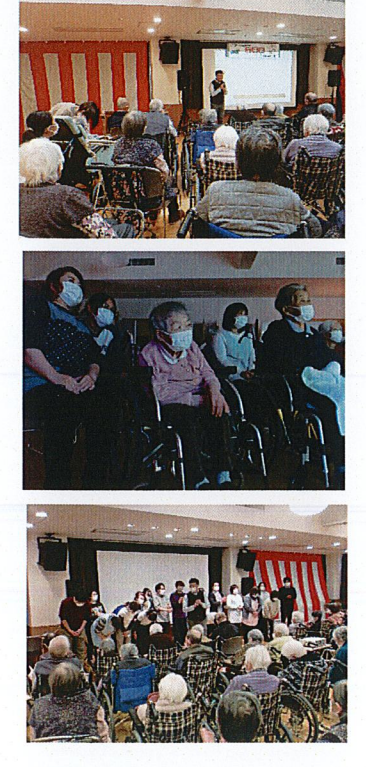
外食行事

12月27日 鰻を食べに外食に出掛けました。「バリアフリー」のお店で、利用しやすいのも魅力です。美味しいスタミナ食を食べて、大満足の様子でした。



忘年会

12月28日 午後からは忘年会を開催しました。令和5年の思い出をまとめたスライドショーを上映しました。職員も利用者さんの隣に座って一緒に観賞し、一年の様々な思い出を共有しました。3時のおやつは、温かいお汁粉をご用意。最後に職員からご利用者の皆さんに感謝の言葉をお伝えし、閉会しました。



お正月飾り

今年も生け花クラブの講師をしていただいている内田岳峰先生にお正月飾りを活けていただきました。令和6年の干支である「辰」をイメージした作品だそうです。書道クラブ講師の鈴木桂子先生にもお手伝いいただきました。なお、後ろの書画は、石井職員の作品になります。ありがとうございました。



Merry Christmas



24日・25日は、ショートケーキ、ビーフシチュー、骨付きチキン、ピラフなどクリスマスの特別メニューをご用意しました。また、ユニットごとにクリスマス会を開催し、手作りケーキを作ったり、プレゼントをお渡ししたりと、クリスマスを楽しみました。

